

- <特集レポート①> 今日から始める！投稿数増加のための戦略
- <特集レポート②> ScholarOne Manuscripts™ 2024 年顧客満足度調査結果
- <杏林舎サービス紹介> ジャーナル・コンサルティングサービス Seekl

今日から始める！ 投稿数増加のための戦略

発信力を強化しジャーナルを発展させていくには、より多くの研究者に論文を投稿してもらうことが重要なカギとなります。しかし、「ジャーナル・インパクトファクター（JIF）を取得したい、上げたい」「効果的な広報を実施したい」「PubMedに収載されたい」といったさまざまな課題や希望がある中で、投稿数増加に向けて、どこから着手すればよいのか悩まれる方も多いのではないのでしょうか。

この記事では、ジャーナルへの投稿数を増やすための具体的なアクションを、「ジャーナル認知」「ブランド価値」「投稿環境」の3つの重要要素に分けて解説します。これらを参考に、ジャーナルの強化に向けた計画を立ててみてください。



1. ジャーナル認知を広げる

ジャーナルを知らなければ、投稿先の選択肢にも入りません。まずは、潜在的な投稿者にジャーナルを知ってもらう活動を強化しましょう。

SNS運用で関心の高い研究者にリーチ

研究者に直接アプローチするためのSNS運用は効果的です。定期的にジャーナルの内容や最新の論文を発信しましょう。また、特集号やCall for Papers（論文募集案内）をタイムリーに告知することで、投稿意欲を喚起することにも繋がります。

ツールを活用した広告戦略

ツールを利用して論文やジャーナルの広告を掲載することも一つの手段です。研究者が日常的にアクセスする場所でジ

ャーナルの情報を目にすれば、自然と認知が高まります。

ジャーナル公開プラットフォームの充実

論文を露出するプラットフォームの充実も重要です。ジャーナルサイトやJ-STAGEなどの一次公開プラットフォームだけでなく、PMC¹やDOAJ²など、論文の全文にアクセスできるデータベースは、公開プラットフォームが増えることと同等の効果があります。

オープンアクセス（OA）の推進

多くの研究者が論文にアクセスしやすい環境としてオープンアクセス（OA）が適しています。OA化することで読者層が広がり、潜在投稿者への露出効果も高まります。

2. ブランド価値を高める

ジャーナルの認知を広げるのと同時に、「投稿してみたい」と思わせるブランド価値を構築する必要があります。

国際的なデータベースへの収載

ESCI³ や SCIE⁴、PMC、MEDLINE⁵、Scopus⁶などの国際的なデータベースに収載されることで、ジャーナルの信頼性と魅力が向上します。いずれも厳しい審査をパスする必要があるため、収載基準を満たす編集体制を整えることが不可欠です。

公開までの期間を短縮

迅速で正確な投稿受付と査読フロー、制作フローを設計することで、論文をより早く公開することができます。誰よりも早く研究結果を世に公開したい論文著者にとって、公開までの期間が短いこと

は大きな魅力です。現在のプロセスを見直し、効率化することで、投稿者の満足度を高めることができます。

主要メトリクスの向上

JIFのような直接的な訴求力の高いメトリクスの向上のほか、採用率や掲載料（APC）などが同一領域の他雑誌に比べてリーズナブルであることも、投稿者がジャーナルを選ぶ際の重要な判断基準となります。

国際基準への準拠

査読の透明性や不正防止策など、最新の国際基準を満たす運営体制を構築することは、ジャーナルの正統性を演出する効果があり、ジャーナルの信頼性とブランド価値を向上します。

3. 投稿環境を整える

投稿プロセスが複雑でストレスが多いと、せっかくの認知度やブランド価値も無意味になります。投稿者が「また投稿したい」と感じる環境を整えましょう。

投稿動線の整備

投稿プロセスをシンプルにし、迷わず進める動線を設計することが重要です。投稿規定や投稿時の提出物を分かりやす

く整備し、さらに投稿に関するFAQを充実させるなど、投稿者が利用しやすいジャーナルサイトを構築してください。

投稿のトリガーとなる企画

特集号や論文賞の設定、Call for Papersの定期的な配信など、研究者が投稿したくなるきっかけを作ることも重要です。特に特集号は、特定の分野における研究者の注目を集める絶好の機会となります。

弱点を見極め、優先順位をつける

「ジャーナル認知」「ブランド価値」「投稿環境」の3つの要素は掛け算です。

100人の潜在投稿者がジャーナルを知り、そのうち50人が投稿する価値を見出してくれたとして、10人が実際の投稿作業を完了できたとすれば、投稿数は10論文になります。

投稿数を増やすためには、この3つの掛け率をバランスよく上げられるように、ボトルネックになっている要素を明

確にし、優先的に取り組むべきポイントを決めることが重要です。例えば、

- 認知度が低い場合：SNSや広告戦略に力を入れる。
- ブランド価値が不足している場合：データベース収載や査読プロセスの改善を検討する。
- 投稿環境に問題がある場合：投稿動線を最適化するための投稿査読システムとジャーナルサイトの整備や、ユーザーエクスペリエンス向上を優先する。

中でも、投稿環境の改善は、比較的手しやすい分野です。小さな変更から稿者の満足度を高める試みを始めてみてはいかがでしょうか。

組み合わせの重要性

投稿数増加を達成するためには、複数の施策を組み合わせることが効果的です。実際に、多くのジャーナルが複数の施策を実施することで成果を上げています。これは「ジャーナル認知」「ブランド価値」「投稿環境」の複数を同時に向上させることで掛け率が上がり効果が最大化されていくためです。投稿動線の見直しなど手の付けやすい部分から始めてみて、徐々に活動の幅を広げていくことをお勧めします。

最後に

投稿数の増加は一朝一夕で達成されるものではありません。しかし、ここで紹介した「ジャーナル認知」「ブランド価値」「投稿環境」の3つの要素に注力し、ひとつひとつ改善を重ねることで、確実に成果が見えてきます。

この記事を読んでくださるみなさまのジャーナルが、より多くの研究者に支持され、質の高い論文が集まる場となることを願っています。ぜひ、この記事を参考に、投稿数増加に向けた取り組みを始めてみてください。

PMC¹：米国の国立医学図書館(National Library of Medicine=NLM) が提供するオンラインジャーナル公開プラットフォーム/データベース。PMCは全文を公開し、またPubMedの検索機能ともリンクしている。

DOAJ²：OA誌を収載するデータベース。収載されることにより、しっかりとした査読を行っている、質の高いOA誌であることが証明できる。

ESCI³：収載されるとWeb of Scienceで検索可能となり、JIFを取得できる。

SCIE⁴：ESCIの上位データベース。ESCIに収載されたジャーナルは定期的な審査が実施され、被引用数が多く、インパクトが高いジャーナルはSCIEに移行される。

MEDLINE⁵：NLMが提供するジャーナル/文献データベース。抄録と書誌情報を公開し、PubMedの検索機能ともリンクしている。

Scopus⁶：世界最大級の抄録/文献データベース。医学だけでなく、社会科学や人文科学など幅広い分野を網羅している。



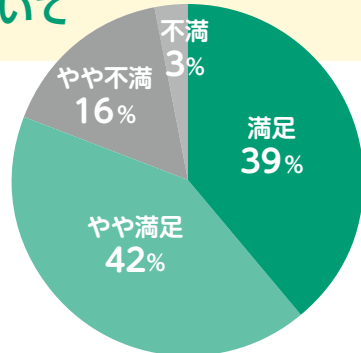
2024年顧客満足度調査結果

S1Mの操作・機能性や弊社サポート対応について、2024/2/22～2024/3/8にアンケートを実施しましたので、その調査結果をご紹介します。

S1Mの操作性・仕様・機能について

アンケート回答内訳

- 約80%が満足寄り、約20%が不満寄りの回答結果となりました。
- コメントの多くは機能・仕様についての向上要望となっていて、設定変更により改善可能な内容も多数ございましたので、いくつかの事例をご案内します。



ケース1

【要望】査読の諾否を選択する時、辞退の際は辞退理由を入力できるような機能が欲しいです。

【改善案】デフォルトの設定では、査読依頼メール内の諾否回答種別は「承諾」と「辞退」の2種類となっていますが、「辞退—多忙」や「辞退—分野違い」などのように別の回答種別を追加設定することが可能です。

ケース2

【要望】査読が辞退されたら予め設定しておいた予備の査読者に自動的に依頼が行く機能があればよいと思います。

【改善案】無償オプション機能としてすでに用意されていますので、設定をご希望の場合はサポートセンターへご連絡ください。

ケース3

【要望】ORCIDのシングルサインオン機能があるとよいと思います。

【改善案】ORCIDとの連携設定を行うことでシングルサインオンが可能となります。

連携設定には、ジャーナルの「Client ID」と「Client secret」が必要となりますので、ご希望の場合は認証情報を取得のうえサポートセンターへご連絡ください。

設定後、ユーザーがアカウント情報の編集画面でWeb of Science (WoS) のアカウントを作成し、WoSとORCIDアカウントの関連付けを行いますと、トップ画面の「Log in Using Web of Science」ボタンからログインできるようになります。

ケース4

【要望】査読承諾メールテンプレートのBCCに事務局のアドレスを設定していますが、

編集委員権限も保持している査読者の場合に承諾メールが事務局には届きませんので改善をお願いします。

【改善案】査読承諾メールにはパスワード設定リンクが含まれているため、本人以外には届かない仕様となっていますが、別のメールテンプレートを作成することで事務局様も通知を受け取れるようになります。

ケース5

【要望】初回査読の際にご回答いただいている「論文賞に推薦しますか？」などの設

問は、修正論文査読の際に不要なので表示されないようにしていただきたいです。

【改善案】査読シートは初回審査と修正審査で異なる内容で設定可能ですので、ご希望の場合はサポートセンターへご連絡ください。

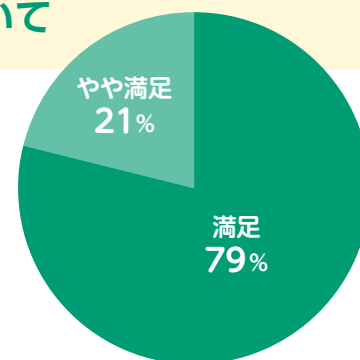
杏林舎のS1サポート対応について

アンケート回答内訳

- 約80%が満足、約20%がやや満足の回答結果となりました。
- コメントについても迅速な対応への感謝の言葉が多く寄せられておりまして、皆様からのお声に感謝するとともに、引き続きサポート対応の向上を目指して取り組んでいきます。

アンケートご回答者様から寄せいただきましたコメント（一部抜粋）

- 引き継いだばかりで操作に慣れな為、問い合わせをすることがありますが丁寧に教えていただけるので助かります。



- 問合せをするといつも迅速丁寧に回答をいただいております。
- いつも修正依頼や問合せに迅速にご対応いただき、ありがとうございます。
- いつも迅速に問題を解決して頂き大変助かっております。

今年の顧客満足度調査についても、近日中に皆様へメールにてご案内させていただく予定です。システムの改善要望などがございましたらお気軽にアンケートへご回答ください。



ScholarOne 提供元がSilverchairへ移行しました

これまで Clarivate Analytics によりサービス提供されていた ScholarOne 事業が、昨年12月に Silverchair へ移行することとなりました。これにより S1M のサービス提供元も Silverchair へ移行されることとなりましたので、そのお知らせとともに Silverchair の企業概要をあわせてご紹介します。なお、今後も引き続き弊社が国内の S1M 代理店として対応させていただきますので、これまで通りシステム操作などのご質問がございました際は弊社サポートセンターへご連絡ください。



SILVERCHAIR

<https://www.silverchair.com/>


会社設立：1993年 所在地：アメリカ・バージニア州のシャーロッツビル
事業内容・経歴：ジャーナルの論文や学会会議プロシーディング、書籍、動画などを掲載できる総合プラットフォーム（製品名：Silverchair）を提供している企業。
医学関連教科書の包装業者としてビジネスを開始し、その後インターネット上で教科書を掲載するためのサービス展開を始め、「Silverchair」プラットフォームの開発に至った。
現在 Silverchair はカリフォルニア大学出版局、オックスフォード大学出版局、マサチューセッツ工科大学出版局、Portland Press、アメリカ小児科学会、アメリカ糖尿病学会など多くの学術団体にて利用されている。

編集後記

今号は学術ジャーナルの投稿数を増やすための戦略についてご紹介しました。投稿数を増やすためには、ジャーナルの「認知度向上」「ブランド価値の強化」「投稿環境の整備」という3つの要素をバランスよく向上させることが鍵となります。SNSの活用や投稿フローの最適化などは、すぐに取り組める施策として注目すべきポイントになるかと思います。

2024年のS1Mに関する顧客満足度調査では、操作性や機能面について約80%の方にご満足いただきましたが、一部改善のご要望も寄せられ、今後の参考となりました。サポート対応については迅速かつ丁寧な対応を評価いただき、高い満足度を得ることができました。今後もさらなる利便性向上に努めてまいりたいと思います。

また、ScholarOneの提供元がSilverchair社へ移行することとなりましたが、弊社および提供元のスタッフともに変更はございませんので、引き続きよろしくお願いいたします。

S1M NEWS

2025年3月3日発行 第28号

発行

株式会社 杏林舎
〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10
Tel.03-3910-4311 Fax.03-3949-0230
<https://www.kyorin.co.jp/>

編集・制作・デザイン
E-mail

株式会社 杏林舎
s1-support@kyorin.co.jp

ジャーナル・コンサルティングサービス Seekl

Seekl
ジャーナルコンサルティング

Seekl (シークル) は国内初のジャーナル運営に特化したコンサルティングサービスです。経験豊富なコンサルタントが課題の発見から目標の設定、達成までの道のりをすべてサポートいたします。詳しくはQRコードよりホームページをご覧ください。

お問い合わせ

03-3918-5005 (直通)

info@seekl.jp


<https://seekl.jp/>
